

Wel^{ウェル}なかがわ

WellはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

地域での交流の場が できました！

第44号

発行 / 2011.6

どちらの学区も、学区単位で設置されている地域福祉活動の中心地域福祉推進協議会が行っている活動です。

あいち子育てひろば



お待たせしました！
愛知学区にお住まいの子育てママパパ
には待望の子育てサロン「あいち子育て
ひろば」が、この4月に始まりました。
ぜひ遊びに来てください♪



おもちゃで
遊べます

コミセン会場は
50人近く参加！

開催日：毎月第4火曜日 10:00～11:30
会場：愛知コミュニティセンター
対象：0歳～2歳くらいの子どもとその保護者
参加費：無料 ※ミルク、タオルなどは各自持参

お母さん同士、情報交換ができます。



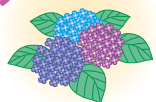
この4月から、豊治学区にお住まいの高齢者を対象に、月に1回学区内8会場で開催しています。食事を介した交流機会を作ろうということで、学区として力を入れて取り組んでいます。毎回平均180人程が参加しています。

豊治学区 ふれあい給食会



「第2次地域福祉活動計画」 基本計画1 ご近所づきあいを大切にしたいたまり場づくり たまり場の設立

今号の内容



地域での交流の場ができました！ ……	1	いきいき支援センターからのお知らせ ……	5
第2次地域福祉活動計画ニュース ……	1~3	共同募金の使いみち ……	5
サマーボランティアスクール参加者募集 ……	2	賛助会員募集 ……	5
今私たちにできること ……	3	住民参加型活動支援事業のご案内 ……	6
平成23年度事業計画・収支予算 ……	4	寄付のお礼 ……	6

第2次地域福祉活動計画ニュース

その8

8回目となる今回は、1ページの「ふれあい・いきいきサロン」紹介に続き、今年度1年間で社会福祉協議会が取り組む計画、ボランティアに関する情報をお知らせします。また、3月に大きな震災があり、災害に対する恐怖・不安が大きくなっていると思いますが、今私たちができることについても一生懸命考えていきたいと思っています。

平成23年度 事業計画(活動計画)

- ・ふれあい・いきいきサロン実践者交流会開催
- ・施設と地域をつなげる交流会開催
- ・世代間交流を進めるための現状調査実施
- ・モデル町内会で防災マップを作成
- ・モデル学区でいきいき支援センターと連携し
小地域活動の促進

(新規取り組みの一部抜粋)

昨年度は、地域の社会資源である施設、地域で活動しているボランティアさん、地域で暮らしている方々、みんな、誰か・どこかとつながりたい、情報共有をしたいという話を聞く機会が多くありました。今年度はその声を活かした、社協ならではの取り組みをしていきたいと思っています。

計画の中間年にあたる今年度は、これまでの進捗状況や成果、社会情勢を踏まえ、評価・見直しを行いながら、取り組みます。

拠点づくり

- 1 ご近所づきあいを大切にした
たまり場づくり
- 2 福祉施設などを活用した
たまり場づくり

ネットワークづくり

- 3 世代間交流の推進
- 4 障がい者と交流する機会の拡充
- 5 災害に強いまちづくり

福祉環境づくり

- 6 福祉体験の学習機会の拡大
- 7 地域での福祉啓発活動

担い手づくり

- 8 地域福祉推進協議会の活性化
- 9 ボランティアの活性化



基本計画9

ボランティアの活性化

音訳ボランティア 櫻の会

音訳ボランティア 櫻の会は平成3年3月、中川図書館・中川区社会福祉協議会共催『音訳ボランティア養成講座』を受講した方達が出したグループです。音訳を通して視覚障がい者の方達との交流を図っています。

今年で、20年目 現在40代～60代の5人が中心で活動しています。

櫻の会では、視覚障がい者の方が必要とする情報や興味のある情報（広報なごや中川区版、障がい者用月刊誌、ウェルなかがわ など）を音訳・編集し、テープ雑誌として毎月発送しています。

なお、活動は月1～2回2時間程度。現在は、中川図書館 集会室で活動中。今後は、在宅サービスセンターに移転予定。

中川区で活動しているボランティアグループを紹介します。



楽しみながら、また人々とのつながりを大切にしながら、誰かの役に立てる喜びを感じて活動しています。こうした活動に興味のある方、一緒に活動してみませんか？

また、これからは、テージー録音の時代なのでパソコンに強い方、ぜひ力を貸してください。

音訳って何？ 視覚障がい者の方に文字情報を声にして伝えることです。

サマーボランティアスクール 参加者募集

学生の皆さん！夏休みを利用して、社会福祉施設でボランティア活動の体験をしてみませんか？

- 活動先** 区内社会福祉施設（デイサービス・特別養護老人ホームなどの高齢者施設・作業所などの障がい児者施設・保育園などの児童施設）
- 活動期間** 7月25日(月)～8月19日(金)の各週月曜日から金曜日までの5日間
- 参加対象** 中川区内在住または在学の中学生・高校生
連続5日間の活動が可能で、事前研修会(7/22)・事後研修会(8/23)に必ず参加できる方
- 参加費** 無料（ただし、ボランティア保険料250円と交通費・昼食代は各自負担。また、児童福祉施設などで活動する場合は、検便代が必要です）。
- 申込方法** **6月20日(月)までに**、参加募集チラシ添付の所定の参加申込書でお申し込みください。
募集チラシは、各学校や社会福祉協議会、区役所などの公所にあります。



平成23年3月11日に発生した東日本大震災において被災された方々ならびにご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災に対して、本会や市社会福祉協議会では、被災者支援のため、様々な取り組みを行っています。

全国の社会福祉協議会職員が、被災地に派遣され活動していますが、中川区社協も2人の職員が順次派遣され、被災地における状況把握、災害ボランティアセンターの運営支援、生活福祉資金貸付の申込対応など様々な支援を行って来ました。

また、中川区では、被災地のために今できることを何かしたいというご相談をいただき、区内の高校生やボランティアグループ、地域住民の方のご協力のもと街頭募金活動を行いました。

1回目はあおなみ線中島駅で3月24日(木)8時ごろから、2回目は地下鉄高畑駅出入口付近で4月2日(土)10時から、それぞれ30名、52名と多くの皆さんが参加し、その呼びかけで合計20万円以上の義援金が集まりました。

今回ご紹介した街頭募金に限らず、区内の個人、法人、各種団体など多くの方から義援金のご協力をいただいています。これらの義援金は、中央共同募金会を通じて被災された皆さまの生活再建のために直接届けられます。

街頭募金協力

名古屋市立工業高校機械研究部の皆さん、みつば会（市委託事業：はつらつ長寿推進事業）有志の皆さん、愛知県立中川商業高校生徒会の皆さん、本会登録ボランティア「九重群団仲良し会」、「名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク」の皆さん、本会職員有志



「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」開設

名古屋市が設置し、名古屋市社会福祉協議会などが運営する、被災地域におけるボランティア活動に対する相談・情報提供、市内にお住まいの被災者の生活支援に関するニーズ把握とボランティアによる支援などを行う上記センターが開設されました。

場所：名古屋市総合社会福祉会館5階「福祉のひろば」内

電話：070-5029-9270・070-5012-5113

詳しくはこちら→ URL：http://www.shienvc-nagoya.jp

被災地派遣職員の声

大槌町災害ボランティアセンターの運営支援を終えて

地震後の津波と火災により、市街地の大半が甚大な被害を受け、町役場も流されてしまった岩手県大槌町。マスコミに大きく取り上げられたこともあり、全国各地から“大槌町でボランティア活動をしたい”というたくさんの問い合わせが寄せられていました。

この、ボランティアをしたい方とボランティアを必要とする方のニーズ調整を行うのが災害ボランティアセンターの役割です。

特にニーズが多い浸水した家屋からの泥出しのボランティアには、団体ばかりでなく学生さんや会社のグループなど様々な方々が“私たちにも何か出来るがあれば”と県内外から駆け付けてくれました。その他にも、避難所での炊き出しや散髪・マッサージ、子どもへの読み聞かせなどたくさんのボランティア調整を行って来ました。

復旧復興までは時間がかかると言われていています。被災地の方々のニーズは時間と共に移り変わっていくはずですので、今後も災害ボランティアセンターのきめ細やかな支援が必要になってくると思います。(丹下)



基本計画5

災害に強いまちづくり

本会では、地域福祉活動計画の推進委員や「名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク」などと協力して、防災意識の向上、隣近所の助けあいのネットワークづくりなど地域防災について取り組んでいます。

秋ごろ、防災体験などを通して防災意識を高めるため、併せて災害時における災害ボランティアや本会の役割を知っていただくために、**防災イベントの開催**を予定しています。本会職員や災害ボランティアが携わった今回の震災被災地での支援活動の経験を活かしたイベントになるよう準備を進めていきます。

イベントの企画・運営に協力していただける方、災害ボランティア活動に興味がある方は、ぜひ本会までご連絡ください。

また、通年で行っている**家具転倒防止耐震留具取付サービス**についての広報、災害が起きた時の危険箇所や社会資源の確認、支援が必要な人の把握などをし、近隣の助けあいのネットワークを作るきっかけにするため、**防災マップの作成**を進めます。

中川区社会福祉協議会 平成23年度事業計画

●は賛助会費を財源とした事業です。★は共同募金配分金を財源とした事業です。

①地域福祉推進事業

- ★地域福祉推進協議会活動・ふれあい給食サービス事業への助成・支援
- ★住民参加型福祉活動への助成

②ボランティア活動の推進

- ボランティアセンターの運営
(ボランティアに関する相談、ボランティア活動保険の受付等)
- サマーボランティアスクールの開催
- ★各種ボランティア養成講座の開催
- 学校等における福祉教育への支援
- 災害ボランティアセンターの設置運営・訓練

③高齢者福祉事業

- 名古屋市高齢者はつつつ長寿推進事業の実施【名古屋市委託事業】
- ★ひとり暮らし高齢者等に対する寝具洗濯乾燥サービス事業の実施
- ★耐震留具取付サービス事業の実施
- 学区敬老事業助成
- ★老人クラブ活動への助成
- 中川区西部いきいき支援センターの運営協力

④障がい者福祉事業

- ★中川区福祉ふれあい広場
(旧名称：障がい者と区民のふれあい広場)の開催【10月開催】
- ★障がい者(児)関係団体への支援

区内の障がい者福祉施設や団体・ボランティアグループが実行委員となり、福祉まつりを開催します。

⑤児童福祉事業

- ★子ども会活動、保育園事業、留守家庭児童育成会等への助成
- 子育てサロン・サークル活動への支援
- 子育てネットワーク事業への参画

⑥中川区在宅サービスセンターの運営

- 研修室・ボランティアルームの貸出
- ボランティアルームへのコピー機設置
- 車いす対応車の貸出
- 車いす・福祉用具等の貸出

⑦広報啓発事業

- ★広報誌「Welなかがわ」の発行
- ホームページの運営
- 福祉講演会の開催

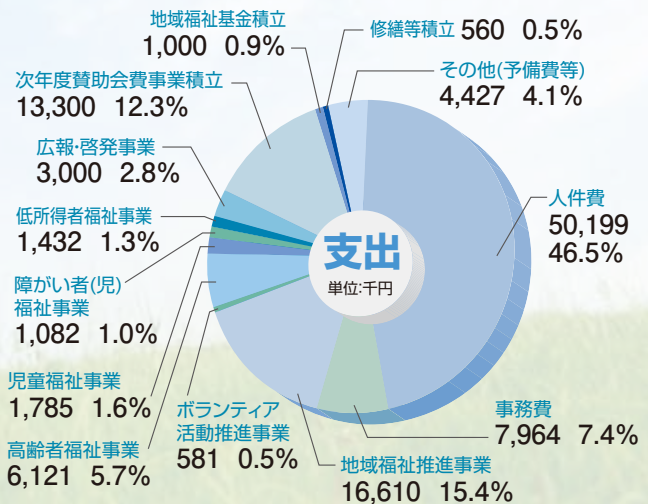
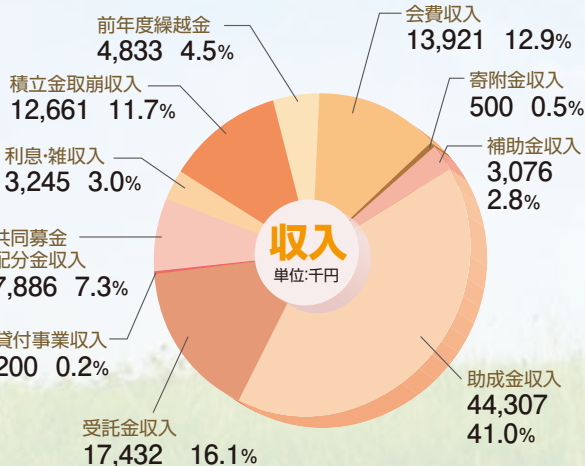
⑧第2次地域福祉活動計画

- 「なかがわ福祉まごころプラン2」の実施

⑨その他の取り組み

- ★民生委員児童委員協議会始め福祉関係団体等への助成
- 生活福祉資金の相談・貸付
- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力
- 中川区介護保険事業所の運営協力

平成23年度 収支予算 総合計 ¥108,061,000円



西部いきいき支援センターからのお知らせ

富田支所で出張相談やってます!!



昨年8月から区民の皆さまの利便性向上を目的に、中川区役所富田支所で高齢者の方の出張相談を毎週火曜日に実施しています。

日ごろ、健康に不安をお持ちの方、介護が必要でお悩みの方、介護でお悩みのご家族の相談などに保健師等の専門家が応じます(相談無料)。

ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開催日時：毎週火曜(祝日・年末年始を除く) 10:00~16:00

開催場所：富田支所2階

※上記開催日時以外は下記へご相談ください。

※昨年度は8月~3月までの8ヶ月間で延べ68件の相談を受け付けました。



★お住まいの学区により、担当するいきいき支援センターが決まっています。

西部いきいき支援センター

電話 352-8258

野田、荒子、正色、五反田、戸田、春田、豊治、長須賀、西前田、万場、千音寺、赤星、明正学区にお住まいの方

東部いきいき支援センター

電話 354-8343

広見、露橋、八熊、八幡、愛知、常磐、篠原、昭和橋、玉川、中島、西中島学区にお住まいの方

いきいき支援センターは、高齢者のみなさんが住みなれた地域で安心して暮らせるよう保健・福祉・医療などさまざまな面から高齢者を支える「高齢者福祉なんでも相談所」として区内に2か所設置されています。



つながっています赤い羽根

共同募金のつながり

皆さんからいただいた共同募金は、地域の様々な取り組みにつながっています。

「留守家庭児童育成会地域ふれあい事業」

戸田明正学童保育所 もちつきバザー

留守家庭児童育成会は、保護者が仕事などで下校後に不在となる小学生を対象に、学童保育所の運営を行っています。学童保育所では、子どもたちが、いろいろな学年の友達と遊んだり、勉強したり、また季節の行事を楽しんだりと様々な活動を行っています。

そんな学童保育所の活動を地域の方たちに広く知ってもらおうと、戸田明正学童保育所では、毎年もちつきバザーを開催しています。昨年度は昔ながらの石臼と杵でつくもちつきや、子どもたち手作りのクッキー・輪投げのお店、地域の方たちが出店するフリーマーケットなどが行われ、学童保育所の子どもたちやOB、地域の方たち約150人が参加して交流を深めました。



ありがとうメッセージ (助成団体からのお礼のこぼ)

▶ 当日は晴天に恵まれ、家族連れでの参加や、つきたてのおもちを楽しみに来てくださった方も多く、盛大なもちつきバザーになりました。みなさんの募金により毎年続けられ、感謝しています。

平成23年度 賛助会員募集

中川区社会福祉協議会では誰もが安心して暮らせる街を目指して、地域福祉を推進するために賛助会員を募集しています。地域の皆さまからご協力いただいた賛助会費は地域の様々な福祉活動に活用させていただきます。

年会費

個人会員 1口1,000円

法人・団体会員 1口5,000円

22年度実績 賛助会費収入額 12,662,077円

内訳▶ 個人会員 8,501件 10,567,577円

法人会員 459件 2,094,500円

本年度もご協力よろしくお願いたします。

※ 賛助会費は強制ではありません。本会趣旨にご賛同いただける皆さまのご協力で成り立っています。



応援します♥ボランティア活動!

住民参加型福祉活動支援事業のご案内

中川区社会福祉協議会では、住民の方が自主的に取り組んでいる福祉活動やボランティア活動に対し、地域の皆さんからいただいた共同募金や賛助会費を財源に活動経費の一部を助成します。

助成内容 1団体あたり 20,000円

助成対象 中川区内で、6ヶ月以上自主的に福祉活動に取り組んでいるボランティアグループ・サロンなど（地域福祉推進協議会が主催するサロンのほか、NPOなどは除きます）

申込方法 7/15(金)までに、中川区社会福祉協議会へお申し込みください。

助成案内や申込書は、社会福祉協議会や区役所等の公所にあります。詳細はそちらをご覧ください。

昨年度は、35のグループが助成事業を利用し活動に取り組まれました。「助成金のおかげで活動に必要な備品が購入でき、有効に使わせてもらっています。」「助成金のおかげで人がつながるような集いの場ができ、感謝しています。」など、たくさんのお礼の言葉をいただきました。

昨年度助成したグループ（分野別、五十音順）

高齢者

- ・いきいきクラブ ・おしゃべりサロン荒子
- ・おしゃべり同好会 ・白ゆりサロン ・戸田荘なかよし会
- ・東出町お楽しみクラブ“たまり場”
- ・みなと医療生活協同組合昭和橋支部“たまり場よって”
- ・みなと医療生活協同組合玉川支部
- ・みなと医療生活協同組合中島支部
- ・みなと医療生活協同組合八熊支部 地域サロン“一日いこいデー”
- ・名西団地自治会健康道場

子育て

- ・育児サークルにこにこキッズ ・子育て支援グループバトンタッチ
- ・子育て支援グループじゃんけんぽん ・スマイル
- ・育ちあい広場みじみじ ・多胎児子育てサークルひまわりキッズ
- ・DANDELION(ダンデライオン)
- ・中川子育て支援ボランティアブーフーウー ・にこにこ♡くらぶ
- ・ポップコーン ・学びと育ちの輪キイテとアソボ
- ・わくわくどきどき探検隊

障がい者

- ・手話サークル春の会 ・中川フレンズ
- ・パンダOB会
- ・朗読ボランティア櫻の会

(その他複数分野)

- ・アロハ・ブア ・九重群団仲良し会 ・地域ボランティア秋桜
- ・さくらさくら名古屋 ・さわやか会
- ・名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク
- ・人形劇団“あっぷる” ・名西折り紙サークル



ありがとうメッセージ



○パンダOB会○

この会の活動を通して、同じ立場の親同士協力して、障がいを受け入れながら生活していくための情報収集や施設見学・制度の勉強・仲間づくりなどができ、何より今年度は助成金で活動を紹介するパンフレットを制作・配布することができました。地域の皆さんの支援のおかげです。ありがとうございました

○人形劇団“あっぷる”○

私たちは子どもたちにも生の人形劇を観てもらい、喜んでもらえたらと活動しています。劇団メンバー全員が勤労主婦のため、なかなか思うように時間が取れませんが、楽しんでくれている子どもたちと接することで、充実感と活力をもらっている気がします。これも募金をしてくださった皆さまのおかげと昨年10月には街頭募金にも参加させていただきました。今後も私たちのような地域のグループへの応援をお願いします。



寄付のお礼

寄付金は中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。（順不同）

- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 宮崎 忠芳 様 ●その他 匿名

お祝いごとや香典返しにかえての寄付を受け付けております。香典返しについては、あいさつ状をご用意いたします。



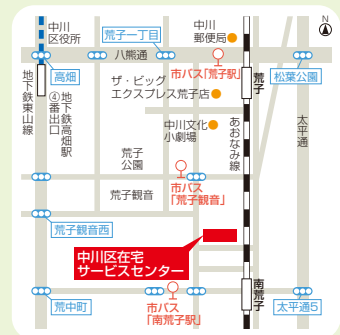
編集・発行

社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

〒454-0875
名古屋市中川区小町1丁目1-20
(中川区在宅サービスセンター内)

TEL (052)352-8257
FAX (052)352-3825

メールアドレス
nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページ
<http://www.nakagawashakyo.jp>



＝この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました＝

※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。